

東京 IPO 特別コラム

2024年4月3日 Vol.220

調整ムードの中で始まる4月IPO

全体相場はようやく調整ムードが感じられる展開。その中で4月のIPOが明日のアズパートナーズ(160A)から始まります。今年も既に2-3月と20銘柄がIPOを果たし、その後の株価変動に投資家の視線が注がれています。基本的なIPO後の株価変動は公開価格に対して高寄りして、その後の調整が続くというパターンが見られますが、本日現在で今年既に上場した20銘柄も、このうちの11銘柄が初値を上回っていますが、残り9銘柄が初値を下回っております。この中には公開価格すら下回っている3銘柄(Cocolive, LisB、シンカ)も見られ、全体相場の調整とともに短期投資家の売りが市場に悪いムードをもたらしているようにも感じられます。

昨年3月までのIPO17銘柄もこのうちの10銘柄は初値を下回り、公開価格すら下回っている銘柄が7銘柄もあります。残り7銘柄については、時価が初値を上回っている状況です。この中では特に建設DX関連のArent(5254・G)が初値1802円に対して高値7540円まで4.2倍という上昇を見せました。この他では住信ネット銀行(7163・S)が初値に対して高値まで93%の上昇。昨年4月の南海化学(4040・S)も初値2533円に対して3月高値6060円まで2.4倍となるなどIPO後に株価上昇を見せる銘柄も散見されます。

4月IPO銘柄は4日アズパートナーズ(160A・S・公開価格1920円・介護付きホームなどシニア事業)、8日イタミアート(168A・G・同1600円・岡山本社のぼり旗などのSP商材)、11日ハンモック(173A・G・IT資産管理、セキュリティ対策、AIデータエントリーソリューションなど)、16日Will Smart(175A・G・モビリティ業界向け中心のDXソリューション企画提案のスタートアップ企業)、24日レジル(176A・G・集合住宅への電力供給、分散型電源の開発)、25日コージンバイオ(177A・G・培地の開発製造販売)の予定。

アズパートナーズについては24年3月期と同時に25年3月期の見通しが公表されており、新株(39.3万株)発行を含めた業績見通しで、4.2%増収、70.9%増の営業利益(12.8億円)、EPS234.8円、配当金47.79円を拠り所にした株価形成が見込まれる。イタミアートは同じ岡山のPOP制作会社アルファ(4760)との比較がなされると想定。ハンモックは24年3月期までの見込みが公表されており、売上高42億円(+5.8%)、営業利益6.5億円(+27.4%)の規模。新株発行を加味せずEPS142円、30円配当(前期18円から増配)。再エネ関連のレジルは6月決算で今期売上高378億円、営業利益26.4億円(+61%)の事業規模。EPS99円で30円配当を予定。2Qまでの営業利益17.7億円で進捗率が67%と高い点もあり注目される。連休前にIPOするコージンバイオも25年3月期見通しを公表しており、前期の減益見通しから今期は大幅な営業増益が見込まれており、ビジネスとともに関

東京 IPO 特別コラム

心が集まるものと見られる。

IPO市場にはグロース銘柄を中心に全体的に頭重い展開が見られますが、その中で活躍する銘柄も見出せるほか、IPO後数か月、1年後の安値から上昇に転じるケースも出て参ります。企業の内容がしっかり認知されて投資家の関心が高まるケースもありますので引き続きIPO後の銘柄動向に関心を寄せて頂きたいと思ひます。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)